

◎外海ラーバ調査（常呂漁協、佐呂間・湧別漁協青年部による調査）

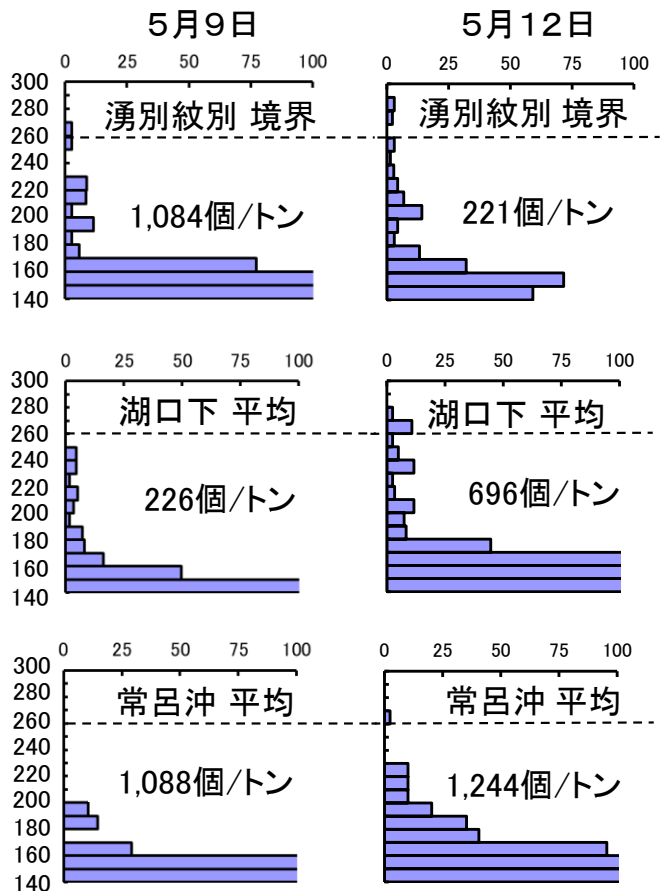
調査の結果、湧別紋別境界では 221 個/トン、湖口下では 696 個/トン、常呂漁港沖では 1,244 個/トンのホタテガイラーバが確認され、140~160 μmの小型個体が中心でした。260 μm以上の付着サイズは平均で 6.9 個/トン確認されました。

水温は湧別紋別境界の底層で 7.4℃、常呂漁港沖で 8.0℃でした。サンプル海水は依然として植物プランクトンの濁りがありました。

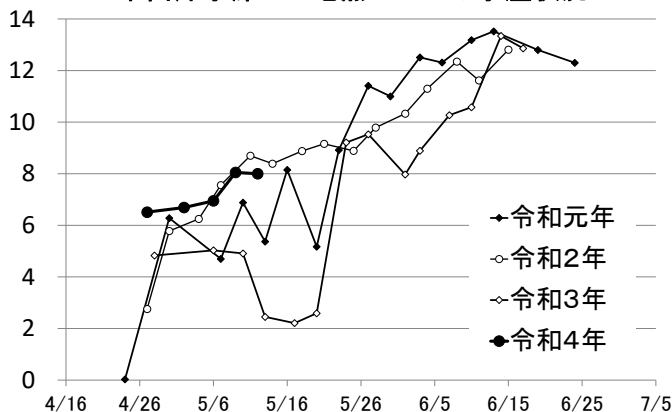
次回は5月16日（月）に実施予定です。

外海ラーバの出現状況

	湧別紋別境界	第1湖口沖下側	常呂漁港沖	平均
140 ~ 150	59.1	252.8	759.6	357.1
150 ~ 160	71.5	212.2	259.8	181.2
160 ~ 170	32.1	121.3	95.6	83.0
170 ~ 180	13.2	44.6	40.6	32.8
180 ~ 190	3.0	8.3	35.2	15.5
190 ~ 200	4.4	7.4	20.3	10.7
200 ~ 210	14.2	11.6	10.1	12.0
210 ~ 220	6.8	3.3	10.1	6.8
220 ~ 230	4.4	2.5	10.1	5.7
230 ~ 240	2.8	11.6	0.0	4.8
240 ~ 250	1.4	4.9	0.0	2.1
250 ~ 260	3.0	2.5	0.0	1.8
260 ~ 270	0.0	10.7	2.4	4.4
270 ~ 280	2.3	2.5	0.0	1.6
280 ~ 290	3.0	0.0	0.0	1.0
290 ~ 300	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	221.2	696.0	1,243.9	720.4
200 μm以上	37.9 17.1%	49.5 7.1%	32.8 2.6%	40.1 5.6%
260 μm以上	5.3 2.4%	13.2 1.9%	2.4 0.2%	6.9 1.0%
イガイ	4.5	17.0	0.0	7.2



常呂沖水深20m地点 -15mの水温状況



外海水温(水深20m地点)

水深	紋別境界	常呂漁港沖
0m	9.09	8.37
5m	8.03	8.08
10m	7.61	8.03
15m	7.46	8.00
底	7.40	8.00

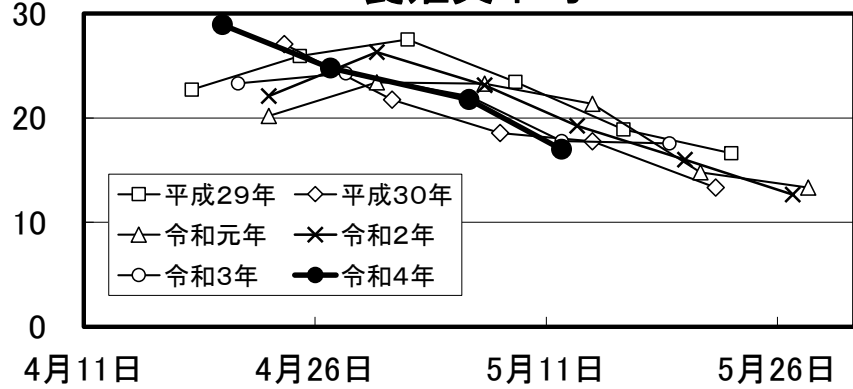
◎生殖巣熟度調査

5月12日にホタテガイ生殖巣熟度調査を行いました。

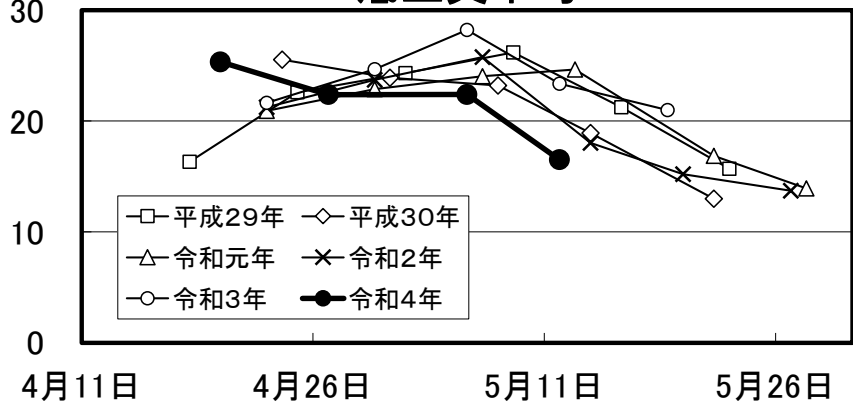
その結果、養殖貝の生殖巣熟度指数は17.0で、前回(21.8)よりも低下していました。

底生貝は16.5で、前回(22.4)よりも低下し、養殖貝、底生貝ともに一斉に産卵したと推測されます。

養殖貝平均



底生貝平均



◎サロマ湖水温状況 (ブイ5、水深4m)

5月12日現在の湖内中央部水温は9.8°Cで、過去10年平均の7.8°Cを2.0°C上回っています。

2022年サロマ湖水温(中央部)

